

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可

昭和40年12月15日印刷通巻57号 昭和40年12月15日発行 毎月1回15日発行

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

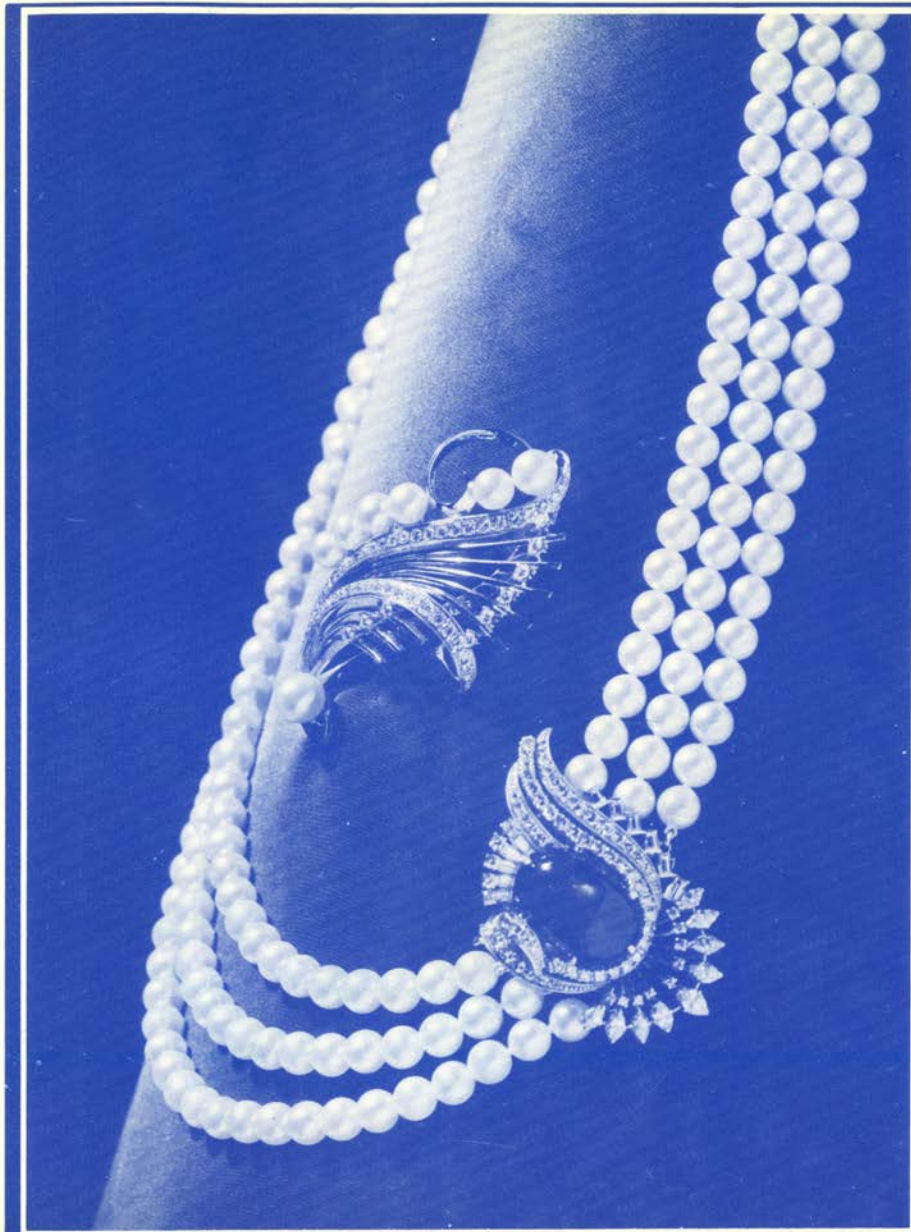
12
月号



magazine kobekko december

RKOISS

1965 no, 57



ミキモトパール
優雅な宝石です
お母様からお嬢様へ
そしてまた
お子様へ
何代にもわたって
愛される
美しい輝き
その価値は永遠に
変わりません



御木本真珠店

神戸店＝三ノ宮・神戸国際会館

大阪支店＝堂島・新大ビル

ミキモトパール取扱いデパート

大阪＝高島屋・阪神

●本店＝東京・銀座四丁目

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ。これは神戸っ子の心の手帖です。





ヨーロッパの逸品を
トーア・ロードの中心に
集めました。



Cross



トランスグローバル特約店・トーア・ロード 33 0998



私の好きなとき

鄭 泰江

〔田中千代服装学園本科生〕

撮影 / 西村雅司

私は京都や、奈良の寺々を訪れることが好きです。いにしえのものには、深い味わいがあって、とりかこまれていると心がなごんで来ます。また日本のきものをきてお茶のお稽古もいたしますが、中国服と違ったしとやかさが大好きです。

わが家にも、古い清朝の皇室にあったといわれる紫檀の屏風や、応接セットが飾られています。そんな骨とう品のある部屋で、いつの日かお嫁にゆくとときにと一針、一針心こめて刺繍する喜びは、女性だけのものではないでしょう。

（鄭 泰江）

鄭泰江さんは栄町三丁目にある博愛医院々長鄭義雄氏のお嬢さんで、六甲生れの中国嬢。高校まではステラ・マリス。山手短大を出て現在は田中千代服装学園で洋服の勉強中。高校時代には花のプリンセスにも選ばれて神戸のミナト祭に活躍された。日本語、英語、フランス語、中国語とあざやかなものだけれど「日本語がいちばん気が楽です」という神戸っ子である。20才。



白金台ダイヤモンド入りエメラルド帯止め
白金台ダイヤモンド入りエメラルドペンダント

確信をもって
タジマの目を選んだ
世界の宝石の名品！

当店でお買上げのダイヤ指輪は販売価格で引取り交換をお約束しております

Tajima
タジマ

*** 宝飾店

元町2・TEL ③ 0387・2552



私の好きなとき

原口忠次郎

〈神戸市長〉

撮影 / 西村雅司

人間にとって健康ほど大切なものはない。今年も池田河野さんと惜しい政治家を次々と日本は失った。今度の市長選挙でいちばん市民の方が驚ろかされていたのは、選挙区を越える私が年に似あわず元気な様子だったことらしい。私は原口式という自称健康法を毎日試みている。それは新鮮で、美味い神戸の空気を力いっぱい吸いこみ30分間の体操をすることだ。そして深呼吸で金のかからぬ酸素を吸収して新しい血をみなぎらせるのである。五選にかけた私の夢は、「かけ橋」や「ポートアイランド」もあるがそれとともに、神戸市民の健康を保つことにもっと力をそそぎたいと思っている。

〈原口忠次郎〉

十一月十二日原口さんは七十六才の誕生日を迎えた。その日はまた六大都市で初めて五選を勝ちとった神戸市長誕生の日でもあった。原口さんの夢のかけ橋にかける執念が神戸っ子の心を打ったのだろう。神戸っ子は「ミナトを大切にしなければ」とポートアイランドの構想も実現しつつある。

この若々しいスタミナを市政のすみずみに迄ゆきわたらせてほしいものだ。

〈自宅にて〉

はじめての パーティの夜

ふけてゆく

いつか その人のまなざしが

ちっと そそがれ

喜びと不安にふるえる胸

恋はもうそこまで来ている

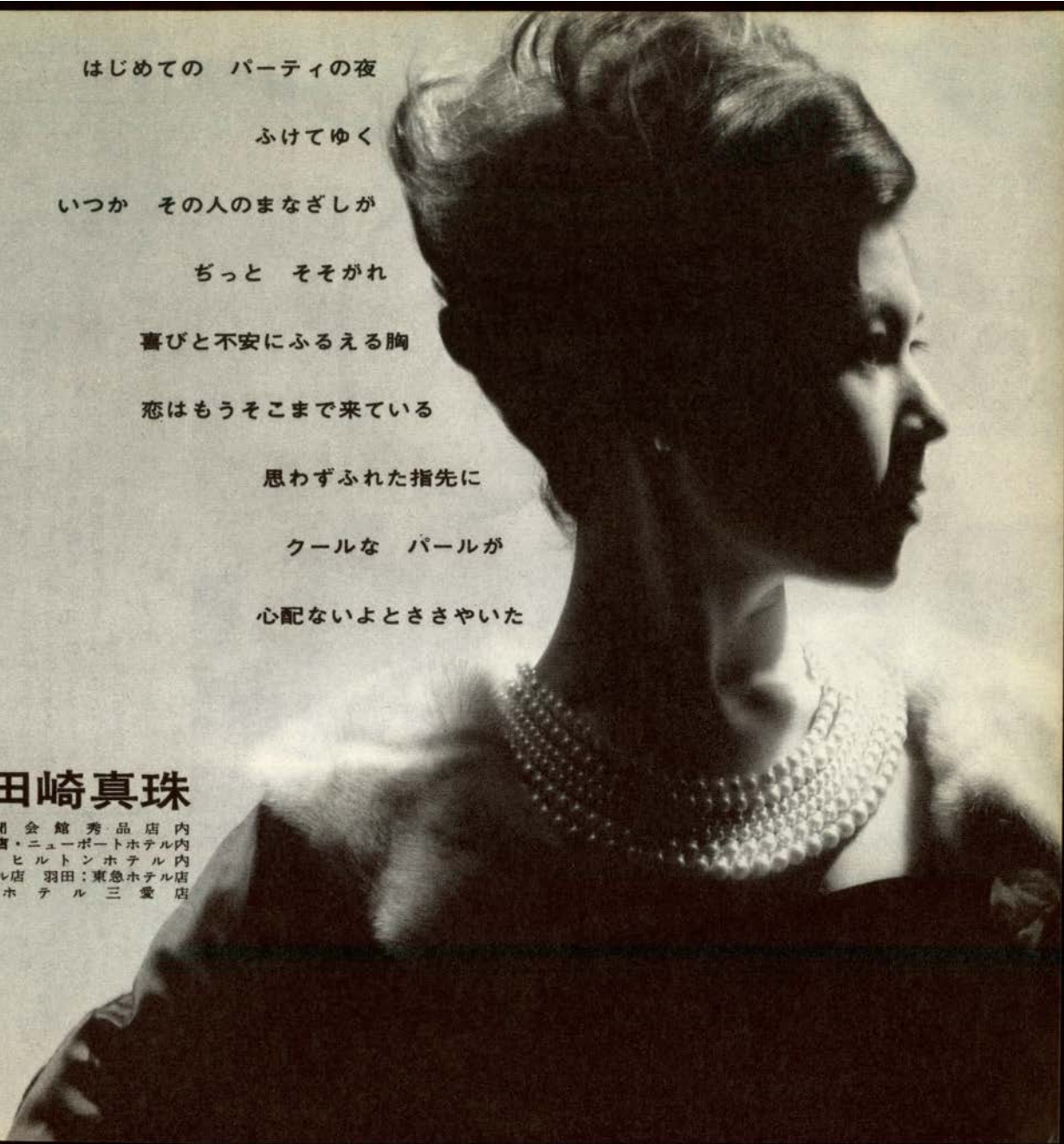
思わずふれた指先に

クールな パールが

心配ないよとささやいた

田崎真珠

三宮店・新聞会館 秀品店内
ニューポート店・ニューポートホテル内
東京・銀座店 ヒルトンホテル内
オータニホテル店 羽田；東急ホテル店
札幌・ホテル三愛店



10' 神戸スフィンクスクラブ



「奇術は国境をこえて世界の誰からも愛される、夢と錯覚を美化した深奥な芸術です」というが、楽しい、愛される奇術をモットーとしているのが神戸スフィンクスクラブの奇術紳士の皆さん。百崎会長を中心に11月7日医師会館で10周年の奇術を楽しむ会が、満員の観客を集めて和気あいあいのムードで開かれた。連日の精古の甲斐あって神戸の奇術紳士の面目を多に発揮された。写真は前列左より篠田一夫〈篠田医院々長〉三木秀夫〈コウベガーデン社長〉★後列左より空閑義郎〈ダイハツ工業〉一人おいて藤戸周一〈藤戸モーターズ代表〉森義弘〈昭和設計参与〉吉井良〈ピオフェルミン宣伝課長〉原田光男〈原田医院々長〉＝副会長・竹内真寿雄〈竹内医院々長〉一人おいて大幸信雄百崎辰雄〈ピオフェルミン製薬KK社長〉＝会長＝・山村茂〈山村硝子副社長〉横垣一〈神戸市役所広報係長〉財田順弘〈洋服店主〉細谷清〈寿本舗社長〉三浦元樹〈三浦商店販売主任〉一人おいて米倉平十郎〈千代田ゴム社長〉小倉秀男〈寺下石油KK販売課長〉深山泉〈深山医院々長〉

パリー生れの
ニットスーツ

可愛いミンクの
毛皮のカラーも
あなたをあたたくく
つつみます

青春のあなたの胸に
清純に輝く
ムラタパール
楽しいクリスマスイブの
装いに……………



さんちか * レディスタウン * TEL 39-3886-7

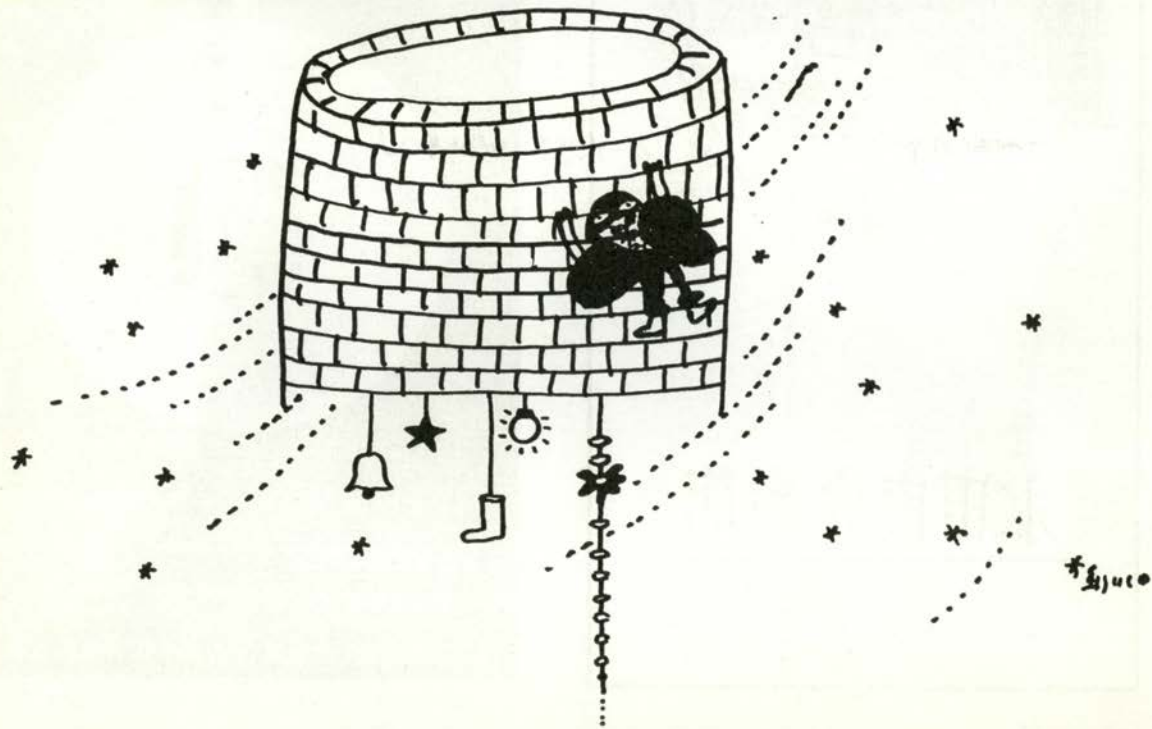
 **ムラタ**

村田 * 真珠 / 銀座山岡 * 毛皮 / マリークリステン * 舶来服飾
本社 神戸市生田区山本通4-97 TEL 23-1212-6

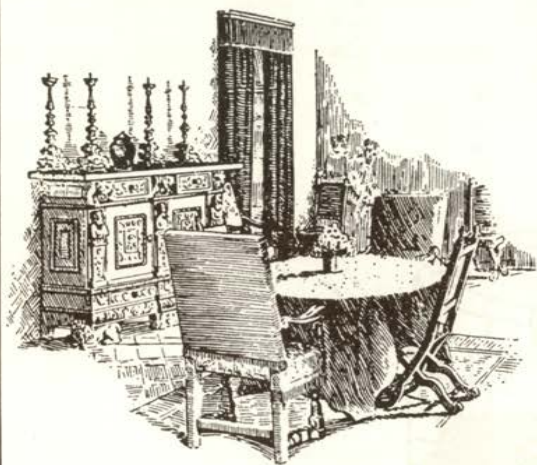
12

月号目次

- 1 Second Cover / 中西 勝
- 3 グラビア / わたしの好きな時 / 撮影・西村雅司 / 鄭泰江・原口忠次郎
- 7 グラビア / ある集い / 神戸スフィックス・クラブ / わたしの意見 / 小林芳夫
- 12 随想四題 / 神戸とクリスマス / 中村百合子
- 16 火事男 / 仲野真夢・サンタの気持で創るクリスマス製品 / 佐々木博一・積極的な日本人に / 後藤 剛
- 19 ある集い / その足あと / 構 恒一
- 21 随想 / 最後のページ / 畑 專一郎
- 23 連載随想 最終回 雀々庵・阪本 勝
- 27 随想 / ひやくまんどののヤケイ・阪口 保
- 30 神戸っ子放談 / 外島健吉
- 33 経済ポケットジャーナル
- 39 私の神戸感 / 松原新一・カメラ・繕方しげを
神戸の集いから
- 40 映画のこと手当り次第 / 淀川長治
- 42 コンニチワ船長さん / 崎く人 / 玉奥 章
- 45 KOBE YOUNG JOURNAL
- 49 暮しのパラエティ / はくらしい品
- 52 MODE of KOBE / 福富芳美
- 55 12月の髪 / 西野 明
- 63 THE DOOR MAN of ORIENTAL HOTEL VI
- 65 パリ通信 / 佐藤昭年
- 66 百店会特集① 座談会
- 68 神戸を愛する神戸らしい店 / 渡辺利夫・川飛満祐・鳥越浩・永田良一郎・麻生ジョージ
- 75 百店会特集② 百店会クリスマスプレゼントクイズ
- 78 神戸遊戯誌 / 馬術 / 青木重雄
- 80 神戸うまいもん巡礼 No. 4 / 赤尾晃子
- 82 神戸入門 / 竹田洋太郎
- 84 神戸を愛しむ私のコース / 射浜フミ子
- 87 ポケットジャーナル
- 90 新連載 / 異人館物語第一話 / 佐の1 / 小山牧子
- 96 連載第32回 / 神戸夫人・武田繁太郎
- 105 グラビア / 酒徒交遊録・木下 繁
- 106 グラビア / 神戸12カ月・岡部伊都子
- 108 撮影・繕方しげを
- 109 グラビア / 神戸銘店抄・陳 舜臣
- 110 表紙 / 小磯良平・カメラ / 米田定蔵
- 111 レイアウト / 中辻悦子



家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { 39 3 7 3 7 }
3 7 3 9



をき菓子の
いとるイツ
憩ひ飾ド伝風
味の

バウム・クーヘン
ビスケット
キングケーキ
フランクフルター・クラッツ



ドイツ菓子 本 店 神戸三宮生田神社前
TEL (33) 1694-8064
三宮店 神戸大丸前市電筋
TEL (33) 2101 (39) 3808
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン
TEL (39) 3 5 3 9
東京/銀座店・渋谷店 その他全国有名百貨店

生きた民主主義

教育を

小林 芳夫

〈兵庫県教育委員長〉

＊わたしの意見



昭和30年9月1日から今年の10月31日まで、ちょうど10年間神戸証券取引所の理事長をつとめました。11月1日より、兵庫県教育委員長の椅子を小宮隆氏のあとをうけついでやることになりました。

経済畑から教育畑へとふしぎに思われるかたがあるかもしれません。長い間ボーイスカウトの仕事をやっておりますので、まんざら縁がないわけではなく、かねてより青少年の教育には深い関心をいだいております。

世の中の激しい変化につけても、青少年の非行化問題が激増している昨今、学校教育が、学校と家庭と社会と三つを結びあわせて行なわなくてはならないことをはっきり物語っていると思います。

やはりこういう問題も、学校だけで解決するのではなくもつともつと社会の人々が地域ぐるみ、社会ぐるみに解決すれば、解決の糸口も早いのではないのでしょうか。

いろんな意味において日本が戦争に負けて、日本は民主主義国になったのですが、はたしてほんとの民主主義が教育のなかにシンのあるものとして生きているかどうかということです。

民主主義の自由をはきちがえている点が多に多いように思われます。自由の権利には、常に義務が伴なうというように自由のなかのキビシサをもつと考えなくてはならないでしょう。

また具体的なことをいえば、学校では楽に勉強できて、能力をのびし、家庭では特別に勉強を強いるのでなく、シツケをする場になるような、試験地獄のないものにした方がいい。もちろんそれには大学への全入ということも考えられますが、すこしでもそういう方向へもってゆきたいものです。

なんとしても人間尊重の民主主義の社会では、その国に人間として生きるという基本を正しくつくる場が教育だと思ふのです。教えるものと、教わるものの立場をはつきりと認識して、生きた民主主義を自覚する日本人を育ててゆくことに、少しでも役立てばと思っております。

□随想四題□

神戸と

クリスマス

中村 百合子

「ジュリー、メリー・クリスマス」

ユリをジュリーと呼ぶジョンの大きな青い瞳が私の顔に近づいた。「ジョン、メリー・クリスマス」ジョンは暖かい手で私の両手を握り、うすもいろの頬を私の頬にくっつけて目を閉じた。私は少しものおじしてから彼の仕草を真似て目を閉じた。右の頬がじいーんと熱くなった。しばらくの陶酔をまさぐり確め合うように二人はじっとしていた。

「ジュリー、ジョン」

ジョンの若いパパの呼ぶ声があった。やがてジョン家のテーブルの上には、ローソクの灯に輝くケーキや七面鳥やバラの花や点滅するクリスマスツリーがあって、私達は大はしやぎをした。

ジョンは八才、私は六才の頃であつたと思う。ジョンはパーティーの時、時々自分のほったにそっと手をあてて私をみた。パパやママの目をぬすんで私の右のほったにその小さい手でそっとなでた。私もつられて彼と同じことをやってみた。とうとうこうえられ

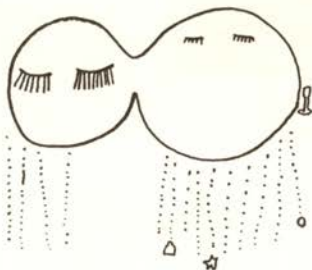
なくなつて二人はどつと笑つた。

「ジュリー、ジョン、とてもとても美しい仲良しね」

ジョンの両親はそういつてにっこり笑いながら二人で顔を見合せてうなずいた。その表情は世界一やさしいものとして映つた。

私は幼少期の半分程神戸で過ごしていた。

戦争が始まるとこの人達がいなくなり随分さびしい思いを味わつた。だがクリスマスを知つた最初



の夏に彼らは生き、彼らの暖い家庭が思い出される。それはジョンとのあの触覚感へも連らなるのだ。学生時代、京都で美術を専攻していた頃、六甲で一人の青年と会つた。コーヒー通であつた私は同時にその場所が神戸でなくてはならなくなつていて毎日神戸へと通つた。たそがれ時、一人ぼつんとコーヒーを飲む習慣であつた私は夏の終りに会つたその青年が、はつと顔をあげたのとぶつかつた。

「今日はイヴですね。」

さりげなくパイプの彼はゆるやかに笑つた。

「そのようですわ。」

「二人でタンブラーをあたたためませんか。」

にぎやかなクリスマスの渦をぬつてたどりついた或るビルの地階カルロでは、静かな大人達が、パーにひびをつきながら自分の分量を楽しんで呑んでいた。

オーレオリンのワインは透きとおつたグラスの中でゆらいだ。格調の高い香りがあつた。

彼の両手がグラスをもつ私の両手を抱いた。のどを通つたそれはほのかに全身を充し始めた。会話のない会話、それがどこまでもつづいてくれればと二人は折つた。寒い街角で私たちはだまつて別れの握手をした。長い握手、

それは一体何であつたらうか。

「好きな神戸」

静かなクリスマス、だがいまの私に神戸は単に自己の異邦の放浪の場としてのみあるのかもしれない。

〈洋画家・行動美術〉

火事男

仲野 真夢

消防には「火事男」というのが

あるんだそうナ。今年五月に、この火事男たちの采配を振うことになったが、以後一向に火事と縁がない。金ピカの制服を着込んだ早々、室蘭港のタンカー爆発にドギモを抜かれ、つい最近には、滋賀県庁の火災で、『耐火建築お前もか!』と思わぬ伏兵に驚かされたが、幸い神戸市にこういつた悲惨な事故がないのはご同慶の至りである。水道局から消防に替わるところも火事が減るものか?と、大いに自賛しているのだが、タネをあかせば実はこうである。

ここ二、三年来、原因不明の大きな火事が相次いだ。ちょっと例を上げて、『富士パチンコ』(上沢通一丁目、焼死三名)、『歌声喫茶月光、日光』(北長狭通一丁目、焼死九名)、『来來軒』(三宮町一丁目、焼失三三三〇平方尺)などがそうだが、横着にも、自分で火をつけておもしろそうに見物していたところを、パチリと写真とられてこれが動かぬ証拠、希代の放火魔『鍛冶』が逮捕されると、たちまちかじがへった。

しかし、大きな火事は『放火』だけで起こるものではない。心のゆるみ、イヤ、火災『そのもの』に対する無知、無関心が無残な結果を引きおこす。商店街の火災といえ、数年前の元町通りで起きた悲惨な事例を思い出されるのでは

ないだろうか。家人は九名全部が二階で就寝し、階下は無人、一階から出火して爆発的に燃え上がりたつた一つの階段がたちまち火に包まれた。それ!と気付いて逃げ出した時はすでに階段は使えず、唯一の脱出口である窓も、人間がくぐるにはあまりにも小さかった。六人死亡、助かったのはたった三人だったのである。



盗難を恐れるあまり、嚴重にシヤッターを下ろして、必要以上に施錠しまわり、窓に鉄格子をはめ込んだりする。なるほどこれでは盗難は防げても、万一火災のとき人命はどうなるだろう。この教訓は今もなお生きているといえる。

このときの原因は、『炭こんろ』だった。今どきこんなものを使っているところはあるまい。電気、ガス、石油ストーブ、プロパンなど、一つ取扱いを間違えば大になる。高速時代というのが、現代の世相らしいが、火事の方も負け

ずにスピード・アップされている。ついウカウカして火事のスピードに追い抜かれると、大惨事を招くことになる。

商店街のみならずには、ぜひ、もう一度、身近かな『火氣』を点検していただくようおすすすめしたい。そして従業員の方にもこれは徹底させていたきたい。夜間、従業員の方たちだけとなった場合にも、火気の管理は実行されているかどうか、二階で寝て一階は無人となくなっていないかどうか、もう一度たしかめてほしい。

師走の声を聞けば、街中が何となく浮き立つ。ジングル・ベル、ジングル・ベル、と一層拍車をかけるのだが、私にはこれが『火事なくそう、火事なくそう』と聞こえる。何とか『火事男』だけはゴメンこうむりたいと思うのである。

〈神戸市消防局長〉

サンタの気持で 創る

クリスマス製品

佐々木博一

「一年を十日ですごく良い男」と昔の閑取衆は呼ばれていたが、われわれクリスマス用品業者は、「一年を二日ですごく良い男」といわ

れることもある。

今や日本でも、クリスマスは津々浦々にまでリクレーション的な要素が多分にあるが、子供たちにも大人たちにも待たれる祝日となつて来たようである。もちろん、外国でもクリスマスはキリスト生誕を祝う聖なる宗教的なお祭だ。

日本に初めてクリスマスツリーが飾られたのは萬延元年9月、ドイツのオイレンブルグ伯爵が来日して日独通商条約が東京芝の赤羽根屋敷で結ばれ、その門の両柱にドイツから運んで来たツリーが飾られたというのだから今から百年程前の話。神戸で何故われわれのような商いがはじまったかといえば、やはり居留地の外国商館からクリスマス前に「こんなものがほしい」という必然的な要求から、大正末期より、松の木の坎ナクずや松モールで作りましたのである。私の会社が設立したのも昭和8年。以来クリスマスの輸出用品のみで独立しているのは日本広しといえども私の会社だけではあるまいか。戦前はともかく「メイド・イン・ジャパン」は安い、粗悪品とされてあまり信用はかんばしくなかった。高級品はすべてヨーロッパ製品が王座をしめていたのである。しかし戦争の痛手は大きく、貿易をやる人たちはすべてこたえただろうが、私たちも戦争

中はまるつきり商売あがったり。今までのお得意先相手の戦争だし、日本は負けると信じたくはなかったが、昨日までのアメリカ、英国などの金持のお客相手では「勝てるんかいナ?!」いや勝つことはなからう」とバク然と感じたものである。運よく神戸の空襲の中で土地をはなれる気にもなれずに会社も家も焼けてしまったが命は助かった。

戦後、アメリカから国交回復の



楽しいクリスマス製品と筆者

ために日本は食糧をうけいれ、そのミカエリ品として、真珠やクリスマス製品を政府の援助をうけて輸出されるようになった。最初のころアメリカ人のバイヤーも製品を見に来てはくれたが買ってはくれなかった。しかしその頃ヨーロッパ側が共産系の色が濃くなったため日本製品の新しいものをドンドン買ってくれるようになり、日本でもプラスチックやアセテ

ト、ビニールなど化学製品が出て様々なデザイン美しいクリスマス製品がつけられるようになってきた。今まではものまね上手の日本といわれたがデザインナーの登場で新しい創作品でしかもコマージュルベースにのるもののできあがるのだから、今やアメリカの流行をこの神戸から創り出す次点にまで成長しているといえるだろう。

いちばん神戸の製品として心ずることは、利益ばかりを求めると実に野暮なものが出るが、色彩でも、デザインでも、機能でも、理想的なものをつくるには、やはり人間に愛される価値のある「生きた商品」でなければならぬと思う。そうすることが輸出をすすめるポイントだと思っている。

サンタクロースは今年もまたやって来る。子供たちの夢を育てる暖たかな心を想い、クリスマス製品を創る楽しみも倍加されるのである。

（佐々木モール社長）

積極的な日本人に！

後藤 剛

私がアメリカ留学に出発したのは2年前のことである。ところはニューヨーク市から300マイルほど

離れたシラキユースという小さな町にあるシラキユース大学。その大学院に籍をおき、昨年(の)9月から6月まで一年間アメリカの学生生活を味わった。シラキユース大学は全寮制の大学であったが、私は大学院であったので近くに下宿し自炊生活をしていった。一般のアメリカ人がしているような暮し方をする事によって、出来るだけアメリカ人の生の姿を肌で感じとりたいたいと思っていたのである。

アメリカの学生々活を簡単に紹介すると、講義は週五日制で土、日曜は休み。というわけで金曜日の夜ともなると女子寮の前はデートの待ち合わせをする男子学生の姿で一杯になる。あちらではデートのときには男性はまず女性をむかえにゆき、しばらく待たされた後、あらわれた彼女を車にのせて(またはタクシーをひろって)、ゆく先は食事か映画など。女子寮の門限は金曜日が午前一時、土曜日が一時半と決っていて、門限は厳重に守られているようだ。

私は経営学を専攻したのであるが、入学してしばらくの間は英語のレッスンが続き、どうやら分るようになって始めて講義の出席をゆるされる。その講義も日本と違って、自分達の身近な問題を取りあげて、教授がそれ々に出題し学生は与えられた題に取組んでレ

ポートを書いて発表する。その後クラス全員で討議し合う。その間教授は全然タッチせず学生達だけで自主的に進められる。質問もお互いに遠慮するとういうようなところはなくてすぐく活発であった。楽しかったのは、大学内にある音楽学校がジャズ・ワーク・ショップを催したとき、趣味でやっていたサキソホンでこのジャム・セ



シラキユース大学内ジャズ・ワーク・ショップでサククスを吹く筆者

ッションに応募し、テストの結果出演することができたことだった。

高度に発達した文明をもつ都市ニューヨークはさまざまな顔をもっているが、私が一番惹かれたのはニューヨークの下町にあるモダン・ジャズのタマリ場だった。ピート族で有名なグリニッチ・ヴィレッジの近くにあるビレッジ・ヴァ

ンガード、ハーフ・ノート、ビレッジ・ゲート etc. このビレッジ・ゲートにはふりから滞米中の中村八大氏などの顔もみえた。モダン・ジャズの分野では日本はまだまだレベルが低いといえると思うが、そんな中でも秋好敏子、渡辺貞夫氏などは本場で活躍中である。

モダン・ジャズは新しい国アメリカが生んだ素晴らしい芸術だといえると思う。ただ、その発生の場所が下町の裏通りであり、演奏者にも黒人が多いという理由から、とかく低級視されているのは残念なことだと思っている。しかし、ジャズは決してそのようなものではなく、身体全体で聞くものではないだろうか。

大体、日本人は消極的で静かである。学生の交歓会などでも日本人学生は指名されても尻ごみしがちであるが、中南米の学生などは自分からすすんで歌をうたい、演奏する。そういう良い意味での厚かましさというものはもっとどんどん取り入れてゆきたい。これからの日本人がもっと活躍の舞台を広げて、世界にのびてゆくために、大いに強い心臓をきたえあげてゆきたいものだ。

〈兵庫日野自動車常務〉



★ある集い★★★☆☆☆☆★

||その足あと||

アマチュア奇術の

神戸

スフィンクスクラブ

構 恒 一

数多くある趣味のなかで、奇術ほどとくな趣味はない。奇術に興味のないという人はまずいなだらう。子供も、おとしよりも、外人も、年齢、職業、国籍をとわず誰でも今すぐたのしめるのが奇術だ。見てたのしく、やってなおたのしいというのはある奇術材料店のコマージュ・メッセージであるが、事実はまさにそれとおりだ最近、いろいろなブームがあるけれども、趣味の世界ではここ数年奇術が静かなブームをつづけ、マジック人口はぐんとふえた。

神戸スフィンクス・クラブができたのは昭和三十年である。会長はビオフィェルミン製菓社長の百崎辰雄氏。アマチュア奇術三十五年、一陽斎のお家芸・空中金魚つりをはじめ、レパトリーのひろさで

は随一、奇術の百崎さんとしてあまりにも有名である。百崎さんが舞台上立つとそこはかかないユーモアがただよう。ほんとうに奇術をたのしむあたたかい人柄が客席をつつむのである。子息の俊郎氏(武田薬品工業)も会員の一人だ。

会員は現在二十六人で、毎月第一、第三火曜日の夜、神戸クラブ(神戸新聞会館七階)で例会を開いている。例会では、会員の研究発表、技術の交換のほか、アマチュア、プロを問わずすぐれたゲストを招いて研究をつづけている。

関西の奇術界では随一の存在だった故・ジャグラー都一師を顧問に迎えて指導を受けていたが、先年、同師の急逝ですぐれた指導者を失ったのはかえすがえすも残念なことであった。しかし、篠田一夫氏(篠田医院院長)のリング・リング(金輪)三村高平氏(阪急共栄物産ストア部長)のロープ切り、空閑義郎氏(ダイハツ工業)のテープ切りなど、同師の演技は会員によって正確に受けつがれている。

こうして、ことし創立十周年を迎え、記念として、神戸医師会館で、「奇術をたのしむ会」を開いた。火焔皿の財田順弘氏(洋服店主)、空中からハトをすくった細谷清氏(寿本舗社長)、空の筒からどっさり和金魚をとりだした大幸

信雄氏(三本筒の小島秀男氏(寺下石油販売課長)、ハンカチ奇術の三浦元樹氏(三浦商店販売主任)、指先の奇術の西河部礼氏(三ツ星ベルト)、ピカピカ光る剣の上に美しい女性を寝かせた三木秀夫氏(コウベガーデン社長)、カメレオンダイスの山村茂氏(山村硝子副社長)、傘をたくさんとり出した森義弘氏(昭和設計参与)、もっぱら客席で見物していた米倉平十郎氏(千代田ゴム社長)、そして陰の世話をして大汗を流して奮闘した吉井良氏(ビオフィェルミン宣伝課長)、藤戸周一氏(藤戸モーターズ代表)など、たのしみにぎやかな会であった。他に安藤錠治氏(三菱重工、高砂製作所水車設計課)、箕面崎叶太郎氏(箕面崎商店代表取締役)、角洗氏(栄光海事社長)がいる。メンバーには副会長の原田光雄氏(原田医院院長)をはじめ、深山果氏(深山医院院長)、竹内真寿雄氏(竹内医院院長)、武蔵宏氏(古江田診療所)などお医者さんが多い。会長以下、どうもクスリくさいとわるくちをいう人もあるが、奇術をたのしみ、ストレスを解消しているぶんには、およそ病氣と縁遠いのが神戸スフィンクス・クラブなのである。

〈筆者はスフィンクスクラブ・メンバー。神戸市秘書室渉外広報課公聴係長〉
グラビヤ七頁をご覧ください

Your
 品格ある
 紳士服
 ©-SHIBATA


柴田音吉洋服店
 神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
 大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

サンタクロースのおじさんが
 クリスマスケーキを
 プレゼントの数より一ツ多く
 袋につめて行った……

今年こそはこの美味しい
 風月堂のクリスマスケーキを
 サンタも喰べてみたい……と
 思ったからだろう

クリスマスケーキのお予約はお早い目(二十日迄)にどうぞ

神戸にそだって 70年

風月堂
 元町3丁目 TEL 092412-5
 さんちカスイーツタウン TEL 093455

★MERRY★★★★★
CHRISTMAS★

★★MERRY★★
★CHRISTMAS

洋菓子の
ヒロタ

本社★大阪市天王寺区上汐町6
〈神戸〉元町店・三宮秀品店
さんちかスイーツタウン
〈大阪〉新大阪駅店・富国店
大阪駅東口店・梅新店・ウメダ店
戎橋店・ナンバ店・天王寺店
天満店・塚本店・豊中店
尼崎店・守口店・淡路店

★楽しい

クリスマスには

今年もヒロタの

クリスマスケーキを

